

看護診断	
# 1 左麻痺による誤嚥の危険性に伴う安楽な呼吸阻害の危険性	
期待される効果	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 誤嚥をおこさない。</li><li>2. 左麻痺による誤嚥の危険性を自覚し、回避行動がとれるようになる。</li><li>3. 口腔内の清潔を保ち誤嚥性肺炎の危険性を防ぐことができる。</li><li>4. 食前の口腔体操を行うことで、誤嚥を防ぐことができる。</li></ol>	
看護計画	
O-P (観察計画)	<ol style="list-style-type: none"><li>1.バイタルサイン</li><li>2.意識レベル</li><li>3.呼吸状態の変化</li><li>4.麻痺の程度</li><li>5.口腔内の状態（乾燥,食物残渣,舌苔の有無など）</li><li>6.食事時のむせの有無</li></ol>
C-P (ケア計画)	<ol style="list-style-type: none"><li>1.食事前に口腔ケアと口腔体操を行う。</li><li>2.食事前のポジショニングを行う。</li><li>3.食事中に右側を意識して摂取するよう見守りを行う</li><li>4.食事中、しっかり咀嚼するよう見守り、適宜声掛けを行う</li><li>4.食後に口腔ケアを行う</li><li>5.むせが見られたら呼吸状態や意識レベルを確認し、必要時は直ちに吸引を行う</li></ol>
E-P (教育計画)	<ol style="list-style-type: none"><li>1.口腔ケアの必要性について説明を行う。</li><li>2.口腔ケアの必要性について説明を行う。</li><li>3.口腔内の状況や、自立度に合わせて必要となる口腔ケアグッズの購入をご家族に依頼する。</li></ol>